

平成29年度 戌さん亥さん達の田作り

～第11期大椎っ子田んぼ、第8期あすみっ子田んぼ 田植え編～

今年は子ども達に自分で気づき、調べてもらうという方針で行ないます。田んぼで発見したたくさんの不思議の答えをどうやって導き出すのか楽しみです。自然観察でもみつけた生き物の特徴をしっかりと見て自分たちで名づけてもらいます。珍名がつけられた子どもたちの生き物図鑑、なかなかのものです。

◎大椎小学校 (6月7日 (水))

★田んぼに入ると足をうまくコントロールするのがむずかしかったです。手伝ってもらってなんとか歩けました。苗をもらい苗の根っこについている土を田んぼの水でほぐして1本ずつにとっていきました。人差し指でほっていきように植えました。1人3本植えたら後ろに下がって次の列を植えていきました。田んぼの中にはカエルが多くてびっくりしました。オタマジャクシやメダカやクモ、タニシなどがいました。トンボもたくさん飛んでいました。楽しかったです。(J.M)

★田んぼのまわりにはいろいろな生き物がいました。カエルばかりと思いましたが、田んぼの中をザルですくうと、ちいさなエビのような生き物や黒い小さな昆虫も隠れていました。色あざやかなクモや小さなクモが水面をすばやく走っている様子も見られました。田植えでは水が冷たくころびそうになったが、1往復したら足の感覚もなれて自由に歩けるようになりました。苗のかたまりをほぐしながら1本にしたりニセモノかどうか見分けるのはむずかしかったです。(K.T)

★なえのかたまりをもらい、1本ずつに分けるのがむずかしかったけど、最後のほうになるとなれてきました。手で植えると機械よりも時間がかかることを知りました。機械で植える人が多くなってきているのですが、やっぱり昔ながらの手で植えたほうがいいと思いました。(S.B)

★生き物をたくさん見ました。足があるオタマジャクシや小さいオタマジャクシがたくさんいました。足があるオタマジャクシは手もはえていて、もうすぐカエルになるんだなとおもいました。田植えはてきとうに植えるのではなく、まっすぐたてて植えるということを教わりました。なえの植え方があるんだなと思いました。お米になるのを早く見たいです。(M.Y)

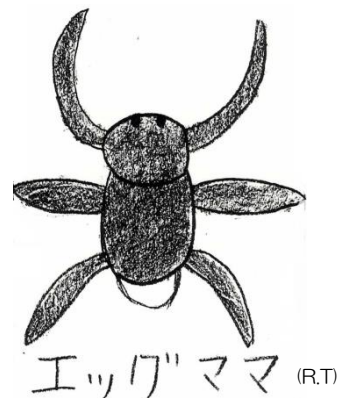
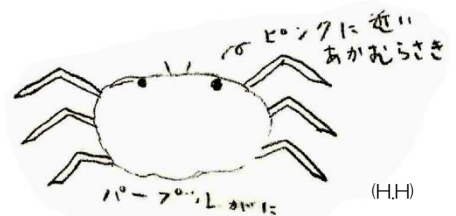
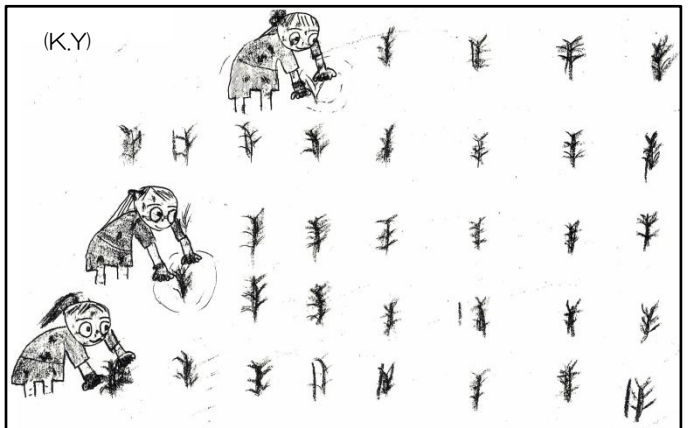
★田んぼの中に入る時クモやカエルやアメンボがいていやだなと思ったけど、入ってからは気持ちよかったです。おどろいたのが、意外と深いということです。また、ニセ稲があると聞いておどろきました。ニセ稲の見分け方は、ニセ稲は稲よりも長く葉が少ないそうです。キレイに稲をならべて植える理由は宿題です。田んぼにいるクモが浅田真央選手のようにスイスイと水のうえをすべっていたので「浅田クモ」と名付けました。背中に卵を背負った虫の名前も宿題です。(R.H)

★ゆっくり目を出して動いている黒い貝を「目だしくロワッサン」と名付けました。黒とみどりがあわさったような色のオタマジャクシはプニョとしていて気持ちよかったです。(E.S)

★田植えをしたことがなかったので、ドキドキしました。田んぼに入ったら深くて歩きにくくて転びそうになりびっくりしました。そんな中で苗を植えるのがつかれました。でもきれいに田植えができてうれしかったです。自然観察では大きなクモ(クローグモ)、小さなカニ、大きなカエル(ゴジラガエル)をみつけ、友達がつかまえるのが上手でびっくりしました。めったにみられないオレンジ色のクモをつかまえて、すごく大喜びしました。(H.A)

★田んぼに入るとヌルヌルしていて変な感じでしたが、なれてきたら気持ちよかったです。苗についている土を落として植えました。大変だったけど、楽しかったです。自分が植えた苗がどう変わっていくか楽しみです。1粒からどのくらいのお米がとれるのかも知りたいです。(N.S)

★田植えの前に田んぼの中の土を何回もふみましたが、どうしてふむのか不思議に思いました。土と水の混ざり具合がよくなるから？田植がしやすくなるから？と考えたけど違うような気がするので、調べてみようと思いました。田植えでもなぜかいないにならべて植えるのか不思議になりました。栄養を平等にするためかなと考えましたが、調べたいと思いました。(K.H)



◎あすみが丘小学校 (5月30日 (火))

★おちゃわんに米つぶがついているのがもったいないと母に言われます。田んぼに行って米つぶを残すのはいけないと思ったし、田植えの大変さがわかりました。大変だったことは、足がはまってぬげなくなってしまったこととなかなか苗が取れなかったことです。(R.N)

★思っていたより田んぼが深くてびっくりしました。暑くて田植えするのがつらかったけど、苗が育っていくとなると、わくわくします。難しかったけど、どんな思いでお米ができるのかがわかりました。一粒一粒に大切な思いがあって、おいしくいただいていた。農家の人は、おいしく笑顔で食べている人を思いうかべ、がんばる勇気がわいてくるのかもしれない。植え方にもきまりがあることを知りました。お米ができるまでどんなことをするのか知りたいです。(W.S)




★田植えの前に田おこしをやった。機械がないのでみんなでふんだ。土の感しょくは、ねちょねちょして、なんか気持ち良かった。土というがどろだ。そしてねんがんの田植えだ。なえの束をくれて、それを1本1本ていねいに根っこごと取って、植える作業だ。苗1本1本取るのがむずかしかった。でも、農家の方々はそんな作業をかん単にこなしてすごかった。(R.H)

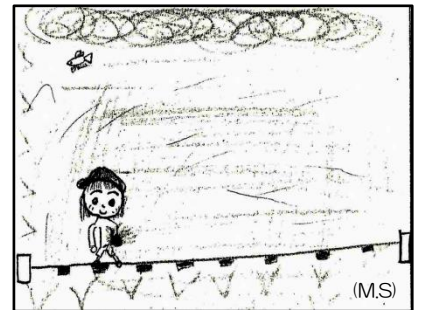
★田植えは農家の人の大変さがよくわかりました。ぼくは、12本しかなえを植えていませんが、時間がかかるしコツなどもあるので大変でした。農作業は大変な仕事だと思うけど、達成感がある仕事だと思いました。がんばって作った米を食べてもらおうと思うと、うれしくなります。この気持ちになるから次もがんばろうという気持ちになるんじゃないかな?と思いました。(J.H)

★田おこしで土をふんだとき、足がぬげなくなってころびそうになりました。苗をまっすぐにたてるよう集中して、ゆっくりと土にいれることをがんばりました。自然観察では、いろんな生き物がいて、つかまえた生き物に名前をつけました。黄色の毛虫を見てびっくりしました。(T.M)

★田植えはつらい仕事だと思う。自分の足で田おこしをしたのは初めてだった。道具を使わなくてもできた。なえを植えるのはとても楽しかった。あせをかくほどがんばった。コツを教えてもらい、何回もやりたくなった。生き物はかえるやおたまじゃくし、トンボ、クモなどいた。いろいろな動きや色をしていた。生き物がいることで、田や自然がよくなっていると思った。(E.S)

★最初は「あすみ田んぼ」と聞いてとてもわくわくしました。じっさいはいってみると、足がぬげなくなったり、なえをおとしてしまったり、稲づくりの大切さを学びました。でも、コツをつかみ、すばやくせいかくなえをいれられるようになり、最後までたくさん植えられてよかったです。昔の人の田植えのくろや工夫などがわかってよかったです。また、稲を上に乗っすぐいれる工夫のいみもわかり、いい体験になり、とてもやりがいのある仕事でした。(R.H)

★田植えでは、の中から1本ぬき取る時に、根っこがきれないように工夫しました。のロープは少し間をあける道具で、すごいやくわりをしてました。田んぼにはメダカや、まきちゃん(たにし)、水面歩きグモもいました。虫は苦てだけど、気にしないように集中してやりました。初めての田植えだったけど、意外と上手にできました。田植え前にどうして田起こしするかというと、たぶん をうめやすいようにだと思えます。田植えは楽しかったです。(M.S)



★観察の時間では、色々な生き物を観察できたのでよかったです。中でも「デカガエル」はびっくりしました。なかなか見ない生き物もたくさんいて、いい体験になったと思います。(M.Y)

★家の近くでは見られない生き物をたくさん見られたので、次回行くのが楽しみです。(N.M)

★田んぼにはふだんみかけない虫がたくさんいた。へびはみつけれなくてがっかりした。(M.S)

★ふだん見たりできない生き物などを見たり観察できてよかったです。(M.K)

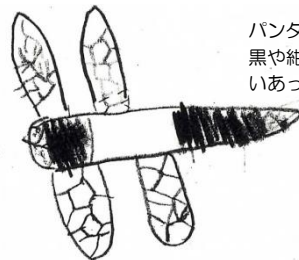
★田んぼにはふだんみないような生き物がたくさんいて、初めて知る生き物がほとんどでした。ということは、生き物は自分に合った場所で生息しているんだなと思いました。(K.K)

★色の種類がたくさんあったり、同じ名前や形でもちがう力を持っている虫もいたり、小さくてもちゃんと生きている生き物もいた。(C.J)

★自然観察で、パンダトンボ、水面歩きグモ、茶色ガエル以外にもいろいろな生き物が見れた。あすみが丘では見られないものが多く、田んぼにはいろいろな生き物がいると分かった。(H.S)

★田んぼにはいろいろな種類の生き物がいて、それぞれの特ちょうがあることがわかった。(H.M)

タマゴリュック:背中にたまごを乗せていたからタマゴリュック。とてもたくさんたまごがあった。(H.M)

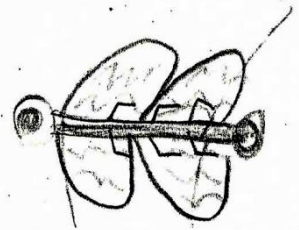


パンダトンボ:頭としっぽの先が黒や紺色ほい。羽には線がいっぱいあった。動きが速い。(H.S)

名前パンダトンボ

へろへろうねうね:オレンジ色だった。水の中に入った。動きが速くて捕まえるのに苦労した。(N.M)

へろへろうねうね



耳かきトンボ

耳かきトンボ:青くて細長い。先っぽがまるくなっている。大きさは全長6~7cmくらい。(K.K)

里山たんけんレポート



第 209 回 下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い

2017年6月4日（日）晴れ

クサイチゴが食べ頃の丘をひとめぐり、残念なことにちょっと盛りが過ぎたようで期待の方が大きく終わってしまいました。キツネアザミ、クモキリソウの花を見て田んぼに出ました。畦にはニホンアカガエルの子ガエルが踏みつけそうになるほどたくさんいて田んぼに飛び込みます。田の中はシュレーゲルアオガエルのオタマジャクシがいっぱいです。イチヨウウキゴケ、サンショウモは芽を出し始め、トチカガミは繁茂してきていました。今度はクワの実、オオシマザクラの実を目指して歩みを進めました。クワの実は路々たくさん味わうことができました。オオシマザクラのサクラノボは黒く熟したものが美味しいと思っていたら熟す前の赤い実の方が酸味があって苦みが少なく美味しいことを発見した人がいました。なるほど、苦みがなく爽やかな味でした。オオヨシキリ、ホトトギス。ウグイスの囀りを聞きながら実りの味わいを楽しんだ観察会でした。



（参加 大人9名、大学生1名、高校生7名、小学生2名、幼児2名、報告 網代春男、写真 田中正彦）

第 207 回 下大和田 YPP「田の草取り」

2017年6月10日（土）晴れ

田植えから一ヶ月近く田の中には様々な草が生えてきました。コナギ、ヘラオモダカ、オモダカ、トチカガミ、ムツオレグサ、イヌビエなどが主な草です。中には要保護生物に指定されているものもありますが、湿地環境が維持されている限り絶えることはありませんので田の中の草は原則取り除くことにしました。まずは田を一回りしてそれぞれの草を観察してから田んぼに入り草を取りました。予定の14時にはコシヒカリ、緑米、赤米、黒米、農林1号、それぞれの田の草を取り終えました。作業の終わった田んぼはすっきりときれいになりました。



（参加 大人14名、小学生6名、幼児3名、報告 網代春男、写真 田中正彦）

第 143 回、144 回、145 回 小山町 YPP「古代米・緑米の田植え」

2017年6月11日（日）、17日（日）曇、18日 雨

6月は3回作業をしました。11日は、子ども達がスクスクと育った古代米の苗をリズミカルに植え、田んぼでは子ども達のにぎやかな声が響き、木や植物も子ども達を歓迎しているようでした。

17日は、畦にもぐらが開けた所の補修作業をし、田起こしをしました。18日も続きの作業でしたが、途中から雨が強くなり作業途中で終わりにしました。

（参加 6月11日（日）大人6名、中学生1名、小学生4名）

（参加 6月17日（土）大人6名、小学生2名）

（参加 6月18日（日）大人6名、報告 稲富理枝）



<谷津田・季節のたより>

小山町

- 6月3日 ウグイス、ホトトギス、キジ、オオヨシキリ、かえるの合唱（赤シャツおやし）。
- 6月11日 ショウジョウトンボが飛び、ホタルブクロやドクタミが咲く（高山）。
- 6月29日 ホタルブクロが咲き誇り、ねむの木の花が咲き始める（たんぼぼ）

下大和田

- 6月9日 シュレーゲルアオガエル、ニホンアマガエルが子ガエルになって上陸を始める（網代）。
- 6月15日 カナブン発生した。（網代）。
- 6月20日 ヤマトラノオが咲き始めた。（網代）。
- 6月27日 ヒグラシが鳴く。（網代）。

イベントのお知らせ

谷津田ってどんなところ？ と興味をお持ちの方、お米づくりを経験してみたいなと思っている方、谷津田プレーランドプロジェクト（YPP）のイベントには大人から子どもまで、はじめての方でも好きな時にご参加いただけます。家族で、お友達どうして、もちろん、お一人でも気軽にいらして下さい。

連絡先（いずれも）：ちば環境情報センター（TEL&FAX：043-223-7807 E-mail：hello@ceic.info/）

- ご注意：・車でこられる方は必ず指定の駐車場に止め、農道などにおかないください。
・近くにトイレがありませんので、集合前に一度済ませておくご協力をお願いします。
・小学生以下のお子さんは保護者同伴で参加ください。
・けがや事故がないよう十分な注意は払いますが、基本的に自己責任でお願いします。

▼下大和田 YPP 第 208 回「田の草取りとあぜの草刈り」

前回の草取りから 1 ヶ月以上が経過してたんぼの草が旺盛に生えていますので草取りをします。

日時：2017 年 7 月 15 日（土）9 時 45 分～14 時 *小雨決行

場所：千葉市緑区下大和田谷津田（ちば・谷津田フォーラムのホームページで地図をご覧ください。また、ご連絡いただければ地図をお送りします。）

集合：中野操車場バス停向かいラーメンショップ脇に 9:45（JR 千葉駅 10 番成東あるいは中野操車場行きのかばフラワーバスで 45 分<千葉駅発 8:25、8:40 など> 料金は 520 円）

持ち物：弁当、飲み物（暑くなるのでたっぷり）、長靴（長めの物）、帽子、軍手、敷物

参加費：ちば環境情報センター会員および家族 100 円、一般 300 円、小学生未満無料

主催：ちば環境情報センター 共催：ちば・谷津田フォーラム

▼第 211 回 下大和田 8 月の谷津田観察会とごみ拾い

こども達の大好きなカブトムシやクワガタムシ、トンボやセミなど夏の虫の季節です。一緒に楽しみましょう。

日時：2017 年 8 月 6 日（日）9 時 45 分～12 時 ☆小雨決行

場所：千葉市緑区下大和田谷津田（同上）

集合：中野操車場バス停向かいラーメンショップ脇に 9:45（下大和田 YPP に同じ）

持ち物：筆記用具、飲み物（暑いのでたっぷり）、長靴（長めのもの）、帽子、敷物、ゴミ袋、午後まで活動する方は弁当など

参加費：100 円（小学生以上、資料代など）

主催：ちば環境情報センター・ちば・谷津田フォーラム

▼ちば里山くらぶ活動日 谷津田の森と水辺の手入れ

日時：2017 年 7 月 9 日（日）、7 月 21 日（金）いずれも 9 時 45 分～14 時

場所：千葉市緑区下大和田谷津田（同上） 持ち物：飲み物、弁当、長袖長ズボンの服装、長靴、帽子、敷物

主催：ちば環境情報センター

▼第 146 回、147 回 小山町 YPP「緑米の田植え・たんぼの草取り」

緑米の田植えを終わらせ、たんぼやあぜに伸びた草を刈ります。

日時：2017 年 7 月 8 日（土）、22 日（土）10:00～12:30、小雨決行

場所：千葉市緑区小山町 リンドウ広場（ご連絡いただければ地図をお送りします）

持ち物：飲み物、長靴（長めのもの）、帽子、軍手、敷物。

参加費：100 円（小学生以上、資料代など）

主催：ちば環境情報センター

編集後記 今、君たちは、グリーン光のフィールドに降り立った。多くの同世代が体験したことも想像したこともない「田植えミッション」に挑む。そこで、君たちは、見た事も無かった独特な姿、動きを魅せる生物を次々と目撃する。。いよいよ、小学校たんぼの体験学習の始まりである。それは、正に、未知との遭遇！今回ここにご紹介した言葉は、子どもたちから溢れんばかり炸裂した言葉のほんの一部だ。さながら、小さな勇者達の冒険記である。感動！全てをご紹介出来ないことが、残念で仕方がない。ごめんなさい！（赤シャツおやし）